

第1回 学校運営協議会議事録

1 期 日 令和5年6月26日(月) 15:05~16:27

2 場 所 金ヶ崎高等学校 会議室

3 出席者(敬称略)

小澤 賢, 及川 勇治, 及川 克美, 鈴木 知里, 小原 明男
三森 健, 伊藤 治子, 鶴田 由美, 後藤 裕介, 千葉 一弘(記録)

4 日 程

辞令交付

運営協議会次第

- (1) 開会のことば
- (2) 校長あいさつ
- (3) 学校運営協議会委員 自己紹介
- (4) 協議
- (5) 意見交換
- (6) その他
- (7) 閉会のことば

5 議事の概要

■学校運営協議会規約について

- ・ p3 第8条 委員の数は15名以内とし、様々な業種の方を入れて協議会を構成する。
- ・ p4 第15条 知りえた情報については守秘義務が発生する。
- ・ 協議会は3回程度を予定。今後は9月と2月に予定。

■学校運営協議会 会長選出

会 長 小澤 賢

副会長 及川 克美

- ・ 事務局案は会長 及川委員, 副会長 小澤委員で提案したが, 金ヶ崎町出身の方がふさわしい, という提案により, 上記の通りとなった。

■令和5年度 学校経営方針・経営計画について

- ・ 今年度の重点目標について校長より説明。
 - ア 授業評価「授業の内容がわかる」該当教科を 国数英 から 全教科 に変更。
 - イ いわたの復興教育スクールに指定されている。地域の防災拠点としての役割。6/21 に防災推進会議を実施し, 町内の小中学校・幼稚園の先生と意見交換した。
 - ウ 進路選択について, 通常であれば進学達成率となるが, 面談等を通して生徒が考える機会を設けられているかを達成指標としている。

エ 広報活動について、今年度力を入れたい。note は週 2 回以上情報更新をしている。ホームページは昨年度刷新し、学校案内も今年度刷新している。学校案内は、生徒たちの表情が見えるような形になっている。note では、探究活動や家庭・芸術の授業の様子、魅力化コーディネーターの記事もある。

オ いじめ対策について、いじめアンケートを年 2 回から年 4 回にし、アンテナを高くする。いじめの疑いが生じた段階から生徒へ安全確保等の対応をしていく。

- ・各指標の達成状況については、年度末の協議会で確認する。

【委員】重点目標の達成指標は、どのような形で達成状況を調べるのか。

【事務局】生徒・保護者・教員対象にした学校評価アンケートの結果を用いる。第 2 回協議会において中間報告をしたい。

■学校概況説明（学習）

- ・教務より学習やカリキュラムに関して説明。
 - ・補足事項。第 2 回協議会を 9 月 27 日の 2 年生の課題研究発表会中間報告に合わせて行う。生徒の発表の様子を見てもらった後に実施する。
- 第 3 回協議会を 2 月 20 日の 2 年生の課題研究発表会に合わせて、その日の午後に実施する。

■学校概況説明（キャリア形成等）

- ・進路よりキャリア形成に関して説明。
- 例年、国公立進学は在籍数の 20%～30%、私立大進学は 40%～60%となっている。昨年度も、在籍人数は減っているが、割合は変わらない。
- ・学校推薦型選抜、総合型選抜での合格者が増えている。一般選抜での合格者は令和 2 年度以降いない。2 月末で決まった人と年内で決まった人との共通テストの点数の違いが大きい。進路指導の課題である。今年度の 3 年生は 2 月末まで頑張らせたい。
 - ・p8 総合的探究について。1 年次の目標は、個人で一人ひとりで取り組む。自分自身を見つめ、興味を知る。2 年次から社会的な課題についてグループで検討していく、3 年は引き続き検討し、振り返り、まとめていく。
 - ・p9 海外留学の募集は県や国の事業で増えてきているが、いきなり海外でなく、国内での語学研修を行い、地域や次の世代にフィードバックさせる事業を行う。

■魅力化の取り組みについて

- ・今年より高校魅力化コーディネーターとして、地域おこし協力隊の有住さんに来ていただいている。
- ・魅力化コーディネーターの活動目的の大きなところは、生徒が生きていくために必要な能力を身に付けられるように活動している。その際、学校のリソースを最大限に活用する。
- ・現在は、総合的探究の時間のサポート、生徒の相談にのる、総探での懸案事項を時間をかけてゆっくりと興味を探りながら詰めていく。放課後には教室で学習サポート活動を行っている。
- ・金高での活動後に note の記事を挙げている。金高での note にも取り上げてもらっている。

【委員】地域おこし協力隊が学校に入って活動することは、他校でもやっているのか。

- 【事務局】県での決まりではなく、学校判断で独自に行っている。他校でも同じような形で行っているところもある。地域社会とつないでほしいときに頼ることもできる。地域と学校とのつながりを作っている。
- 【魅力化コーディネーター】看護師になりたいという生徒に、看護師の友人から話をきくこともできた。
- 【委員】魅力化コーディネーターとの関わりの結果がわかるようなアンケート項目も設定してほしい。

■その他

【委員】今までの学校の方針・カリキュラムについていけない生徒、発信できない生徒の対応が必要。金ケ崎町の「ちっちゃな学校」が新聞に載った。学校がフォローできない人と、対話をしながら時間を過ごす。そのような場が、金ケ崎高校では学校内にあり、金ケ崎町には学校外にもある。違いがあるが面白いと感じた。うまく地域で連携して、子供たちを見守ってほしい。足を運んで聞いてみてほしい。

【委員】新しいテクノロジーについて、生徒の関心事はそちらに行っている。生きていくために必要なことを体感してほしい。新しいテクノロジーを利用していく流れは大事なので、付き合い方をうまく発信してほしい。間違った方面に行かないように、各大人が家庭も含めて連携し、悪い方に進まないような導き方をしていかないといけない。社会に出たときにどういう人材が必要か、ということも含めてテクノロジーへの接し方を考えてほしい。

【委員】学校運営協議会の開催について3回ではなく、臨時的に何度も集まり意見交換することで学校の魅力化や体制の改善につながると考える。是非協力させていただきたいので開催について検討してほしい。

【委員】魅力化コーディネーターの存在は、相談のし易さいじめ防止対策にもつながる。日常の何気ない会話からサインを拾い上げることも可能になる。中学生の数も減少しており、高校への入学者増はなかなか難しいと思う。しかし、現在の生徒数はある意味チャンスととらえることもできる。少人数だからこそ生徒の可能性を見つけやすい。来ないのであればこちらから出向くという姿勢で取り組むことが重要である。

【委員】新聞等のメディア掲載により金ケ崎高校の活躍を知ることができている。生徒の活躍をさらに発信してほしい。

【委員】魅力化・他校との差別化を行うためには、魅力化コーディネーターの存在と金高独自の英語教育（語学研修）など魅力を限定して発信することが必要。それが生徒数の増加につながる可能性がある。

次回 第2回 開催予定 9月27日（水）午後
第3回 開催予定 2月20日（火）午後
（臨時協議会を随時開催予定）

以上